

第Ⅰ章 まちづくりの新たな課題

●平塚市都市マスタープラン（第2次）本冊策定以降、少子高齢化・人口減少が推計より急速に進行し、土地利用と交通、住宅と防災等様々な分野でそれに伴う課題が顕在化しました。これらの課題は複合的に関連しており、分野横断的な対応が必要となっています。

●本章では、新たに対応が必要な課題として、分野をまたがる課題から考え方を整理し、第Ⅱ章のこれからのまちづくりに反映します。

■まちづくりの課題と考え方

I.1 持続可能なまちづくり

課題	考え方
(1)市街地の人口密度の緩やかな低下への対応	●少子高齢化社会・人口減少時代に対応したまちづくりが必要です
(2)利便性低下への懸念と地域生活圏 [※] の拠点づくり	●生活を支える都市機能を計画的に再配置し、誘導していくことが必要です ●地域生活圏ごとの拠点づくりの具体化が必要です
(3)土地利用転換への対応	●大規模工場の撤退や土地利用転換等に対し、跡地の活用に関する分野横断的な調整・協議が必要です

I.2 ストック[※]活用型のまちづくり

課題	考え方
(1)空家等 [※] 発生への対応と利活用	●老朽化が進んでいない空家に対しては住宅政策として積極的な利活用を図ることが必要です
(2)公共施設の最適化 [※]	●既存の公共施設の有効活用と長寿命化対策が必要です ●機能を重視した公共施設の再編が必要です

I.3 増大する自然災害への対応

課題	考え方
(1)自然災害に備えるまちづくり	●東日本大震災の経験をふまえ最大クラスの津波 [※] 災害への備えが必要です ●近年増大する様々な自然災害に対しては公助 [※] のみならず自助 [※] ・共助 [※] の取組による地域防災力 [※] の強化が必要です

